

展示と対話のプログラム「アートセンターをひらく 第II期」関連プログラム

# 砂連尾 理ワークショップ 「変身一ええ、私です。又あなたです。」 最終発表詳細決定!



撮影:松本美枝子

砂連尾 理と参加者は、自身や家族の老い、怪我、障害、母親になったことなど、過去の経験から現在進行中のものまで、人生における個々人のさまざまな〈変身〉について語り合い、その対話を身体表現へと転換するワークショップを行ってきました。10か月に及ぶワークショップの最終発表を迎えます。生きる過程における心と身体のさまざまな変容は、あなたの目にどのように映るでしょうか。ぜひご覧ください。

**日時:2020年1月13日(月・祝) 14:00—**

**会場:水戸芸術館現代美術ギャラリー 第7室**

**観覧料:展覧会入場料に含まれます**

(一般900円、高校生[同年代を含む]以下・70歳以上無料)

**出演:砂連尾理(ダンサー/振付家)、ワークショップ参加者**

**定員:30名(申込不要・先着順・自由席)**

**※整理券を当日13時からギャラリー入口にて配布します**

問合せ:水戸芸術館現代美術センター 310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120  
<https://www.arttowermito.or.jp/>

※ケアが必要な場合は事前にご相談下さい

「アートセンターをひらく 第II期」

2020年に開館30周年を迎える水戸芸術館現代美術センターは、移り変わる社会のなかで今アートセンターに求められる役割を探る企画「アートセンターをひらく」を2期に分けて実施しています。本展では、展覧会を軸に対話と様々な活動を育む場としてギャラリーを活用します。

2019年10月26日(土)–2020年1月26日(日)

水戸芸術館現代美術ギャラリー

【出品作家】呉 夏枝、ハロルド・オフエイ、砂連尾 理、

末永史尚、潘 逸舟、毛利悠子、エマニユエル・レネ

【開館時間】9:30–18:00 ※入場は17:30まで

【休館日】月曜日、1/14(火) ※1/13(月・祝)は開館

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団

交通のご案内:

JR常磐線水戸駅北口バスターミナル

4–7番のりばから

「泉町一丁目」下車、徒歩2分

